



応用物理学会応用電子物性分科会主催

## 応用電子物性分科会 研究例会

### AI エレクトロニクス最前線～環境に優しいAI をめざして～

生成AIの登場は、私たちの生活を大きく変えようとしています。しかし、その裏でAIの電力消費が増大し、環境への負荷が懸念されています。本研究会では、「環境に優しいAI」を目指し、AIエレクトロニクスの最前線を議論します。脳型コンピューティング、省電力メモリ、新素材を用いた情報処理、光ニューラルネットワークなど、革新的な技術の研究を進めている第一線で活躍されている研究者を講師に招いています。お近くの方々にも是非ご案内頂き奮ってご参加いただけますと幸いです。

日時： 2025年3月3日(月) 13:00～17:30

開催形式： ハイブリッド

開催場所： KITENA新大阪 301号室 (12:00開場)

〒533-0033 大阪府大阪市東淀川区東中島1-18-5 <https://merinoria.co.jp/kitena/>

アクセス： JR東海道本線 新大阪駅より徒歩2分

在来線：東改札口を出て左に直進し、東口⑪へ。

新幹線：南改札口を出て左に直進し、東改札口の前を通過して東口⑪へ。

演題：

- |                 |  |
|-----------------|--|
| 13:00～13:05     | 挨拶   |
| (1) 13:05～13:45 | 「脳機能コンピューティングを高効率計算・人工生命・脳探求へ」<br>木村 睦 (龍谷大学)                  |
| (2) 13:45～14:25 | 「生成AIに向けたメモリを中心とするコンピューティング」<br>竹内 健 (東京大学)                    |
| (3) 14:25～15:05 | 「固体電解質を用いた物理リザーバによる時系列データ処理」<br>長谷川 剛 (早稲田大学)                  |
| 15:05～15:20     | 休憩   |
| (4) 15:20～16:00 | 「マグノンパラメトロンによる情報処理技術の開拓」<br>日置 友智 (東京大学)                       |
| (5) 16:00～16:40 | 「Si フォトニクスを用いた光ニューラルネットワーク演算」<br>Cong Guangwei (産総研)           |
| (6) 16:40～17:20 | 「ニューロ・リザーバ・インメモリ等コンピューティングに関する<br>物性応用の最近と展望」<br>丸亀 孝生 (北海道大学) |
| 17:20～17:30     | 閉会   |

受付：[こちら](#)のイベント登録サイトより事前登録をお願いいたします。

参加費 (テキスト代・消費税込み)：

分科会会員：3,000円、応用物理学会会員(分科会非会員)：7,000円

応用物理学会会員(シニア会員)：2,000円、一般：12,000円、学生：1,000円

\* 応電分科会賛助会員：1社につき1名まで無料(2人目から通常の参加費)、応電分科会幹事：無料

問合せ先： 吉村 武 (大阪公立大学)

E-mail: yoshimura@omu.ac.jp

大矢剛嗣 (横浜国立大学)

E-mail: oya-takahide-vx@ynu.ac.jp

石田真彦 (NEC)

E-mail: ishida\_ma@nec.com

吉田千秋 (応用物理学会事務局)

E-mail: divisions@jsap.or.jp

(スパム対策のため、上の“@”は全角になっています。半角の“@”に置き換えて下さい。)

応用電子物性分科会ホームページ：<http://annex.jsap.or.jp/ohden/>